



(4,000円)

実用新案登録願 (6)

昭和53年11月20日

特許庁長官殿

1 考案者名称

ブザー

2 考案者

住所 大阪府門真市大字門真1006番地  
松下電器産業株式会社内

氏名 ミ キ トシ オ  
三 木 敏 夫  
(ほか2名)

3 実用新案登録出願人

住所 大阪府門真市大字門真1006番地  
名称 (582) 松下電器産業株式会社  
代表者 山下 俊彦

4 代理人 〒571

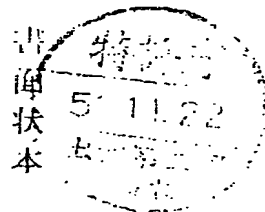
住所 大阪府門真市大字門真1006番地  
松下電器産業株式会社内  
氏名 (5971) 弁理士 中尾敏男

(ほか1名)

(連絡先 電話(東京)437-1121 特許分室)

5 添付書類の目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 委任状
- (4) 願書副本



1 通  
1 通  
1 通  
1 通

53 160416

H-77297

REST AVAILABLE COPY

## 明 細 書

## 1、考案の名称

ブザー

## 2、実用新案登録請求の範囲

ブザーケースに内蔵したコイルの励磁，無励磁により吸引，離反される鉄片と、この鉄片の断続的な当接により振動する振動板とにより接点を構成したブザーにおいて、前記接点を保護するコンデンサを設け、このコンデンサは、鉄片保持用ブラケットを固定するリベットでブザーケースの底部に絶縁板を介して固定されかつ前記接点の一方に電氣的に接続されたラグに一方の端子を接続し、かつ他方の端子を、コンデンサがブザーケースの側面に位置した状態で接点の他方に電氣的に接続された前記ブザーケースにスポット溶接により固定したことを特徴とするブザー。

## 3、考案の詳細な説明

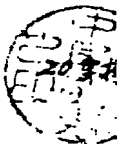
本考案はブザーケースに内蔵したコイルの励磁，無励磁により吸引，離反される鉄片と、この鉄片の断続的な当接により振動する振動板とにより接

15-7729

点を構成したブザーに関するものである。

一般にこの種のブザーを採用した携帯用ブザーにおいては、ケース本体の小型化が要望されており、この小型化を達成するためには電源となる電池として小型で、かつ小容量の電池を採用すれば、ケース本体の小型化をはかることができる。しかし単に小型で、かつ小容量の電池に置き換えただけでは、大容量の電池に比べアーク放電の発生が著しいため、前記接点の劣化が起こり、寿命の電池減少、はずれも著しく、製品として余り好ましくない。

そこで前記接点間にコンデンサを接続することにより、防止することができ、その結果接点の寿命をアーク放電の発生を長くすることができる。しかしながら従来においては、このコンデンサをブザーケースに取り付ける場合、ブザーケースの底部に2個のラグをネジにより固定し、かつこの2個のラグにコンデンサの一方の端子と他方の端子を半田付けにより取り付けていた。その結果コンデンサはブザーケースの底部よりさらに下方に突出することになるため、このブザーとしては厚さが厚くなり、余り好ましいものではなかつ



た。またラグはネジにより固定しているため、部品点数ならびに組立作業性の面で不合理となっていた。

本考案は上記従来の問題点を解消するためになされたもので、以下、本考案をその実施例を示す図面にもとづいて説明する。第1図～第3図において、1は有底筒状のブザーケースで、このブザーケース1内にはコイル2の励磁、無励磁により吸引、離反される鉄片（図示せず）と、この鉄片の断続的な当接により振動する振動板（図示せず）とにより接点3を構成している。4はブザーケース1の上端開口部を閉塞するカバーで、かしめによりブザーケース1に取り付けられている。5はブザーケース1の底部から外部へ引き出されたリード線、6a、6bは前記鉄片保持用ブラケット（図示せず）をブザーケース1内にかしめ固定するリベットで、このリベット6a、6bは絶縁管7a、7bによりブザーケース1とは絶縁されている。8はブザーケース1の底部に設けた調整ネジで、ブザーの組立完了後接点3の間隙を調整す

るものである。9は前記リベット6aのかしめ時に同時に、ブザーケース1の底部に絶縁板10を介して一端がかしめ固定されたラグで、このラグ9の先端は最初は切込み部11を介してL字形に折り曲げられており、前記カバー4をブザーケース1へかしめ<sup>た</sup>後、伸ばしてブザーケース1の外周面より外方へ突出させる。またこのラグ9の一端は前記接点3の一方に電氣的に接続されている。12は前記接点3を保護するコンデンサで、このコンデンサ12はブザーケース1の側面に位置し、かつ一方の端子12aはラグ9の先端に半田付け等により取り付けられ、さらに他方の端子12bはブザーケース1の側面にスポット溶接により固定している。またブザーケース1は接点3の他方と電氣的に接続されているため、このコンデンサ12は第3図に示すように、接点3の一方と接点3の他方との間に電氣的に接続されることになる。

以上のように本考案によれば、接点を保護するコンデンサの一方の端子を、鉄片保持用ブラケットを固定するリベットでブザーケースの底部に絶



縁板を介して固定されかつ前記接点の一方に電氣的に接続されたラグに接続し、かつ他方の端子を、コンデンサがブザーケースの側面に位置した状態で接点の他方に電氣的に接続されたブザーケースにスポット溶接により固定したもので、コンデンサはブザーケースの側面に位置させているため、従来のようにコンデンサをブザーケースの底部に取り付けたものののように、ブザーとして厚さが厚くなるということはなくなり、その結果コンパクトなものを提供することができ、またラグは鉄片保持用ブラケットを固定するリベットでブザーケースの底部に固定し、かつコンデンサの他方の端子はブザーケースにスポット溶接により固定するようにしているため、従来のようにラグをネジにより固定したもの比べ、部品点数の削減がはかれるとともに、組立作業も合理的に行なうことができる。

#### 4、図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示すブザーの正面図、第2図は同ブザーの下面図、第3図は同ブザ



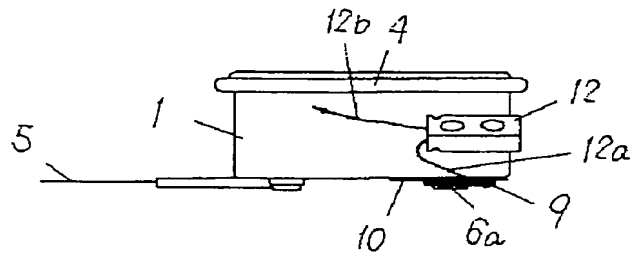
一の電気回路図である。

1 …… ブザーケース、2 …… コイル、3 ……  
…… 接点、6 a …… リベット、9 …… ラグ、  
12 …… コンデンサ。

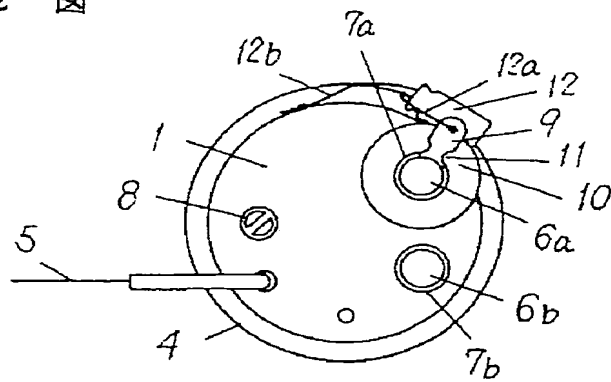
代理人の氏名 弁理士 中 尾 敏 男 ほか1名



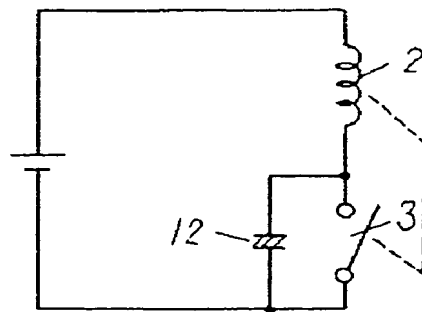
第 1 図



第 2 図



第 3 図



代理人の氏名

井理士 中 尾 敏 男

ほか 1 名

77297



6 前記以外の考案者および代理人

(1) 考案者

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地  
松下電器産業株式会社内

氏 名 オオハシ カズ オウ  
大 橋 一 夫

住 所 同 所  
氏 名 ハタ ヱリ ヤス ソウ  
畑 崎 保 三

(2) 代理人

住 所 大阪府門真市大字門真1006番地  
松下電器産業株式会社内

氏 名 (6152) 弁理士 栗 野 重 孝



55-77297

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record.**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**